

6 新型コロナワクチン接種の流れ

国から、65歳以上(昭和32年4月1日以前に生まれた方)の優先接種を先に行うように示されており、本人が接種を希望する方を対象に65歳以上の接種をはじめに行います。1人あたり3~4週間の間隔を空け、2回接種を行います。ワクチン接種は無料で、予約すれば確実に受けられます。

なお、65歳未満の方のワクチン接種、入院中及び高齢者福祉施設などへの入所者、事情により他市町におられる方などの対応については、国から情報が示された時点で、あらためてお知らせします。

新型コロナワクチン接種の流れは次のとおりです。



1. 予防接種券郵送

65歳以上(昭和32年4月1日以前に生まれた方)の該当者に対し予防接種券を郵送します。数日後にご自宅に配達されます。

2. 予約受付

予防接種券配達後、接種日と時間(1時間単位の予定)を2回分予約します。予約方法は、以下のとおりです。なお、予約方法の詳細は、4月号の「広報しちがはま」でお知らせします。

- 1)電話予約 予約コールセンターを設置
 - 2)窓口予約 役場水道事業所に、窓口予約のための特設会場を設置
 - 3)オンライン予約
- ※いずれの場合も、代理申請が可能

3. ワクチン接種(1回目)

接種会場の七ヶ浜町武道館(吉田浜字野山5-9 生涯学習センター内)で予約した日時にお越しいただき、ワクチンを接種します。

郵送された予防接種券を持参し、職員の指示に従いワクチンの接種を受けてください。

4. ワクチン接種(2回目)

1回目の接種から3~4週間の間隔を空け、2回目の接種を行います。ワクチン接種の流れは、1回目と同じです。

ワクチン接種は無料で、予約すれば確実に受けられます。

7 エリア分け

本町では、対象見込み数の約6,000人弱の予約受付の混雑を緩和するため、町内2つのエリアに分けて予約受付を行います。

エリア分けの実施に関し、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

エリア	該当する行政区名
A	湊浜、松ヶ浜、菖蒲田浜、花淵浜、吉田浜、代ヶ崎浜、東宮浜、要害、御林、亦楽、笹山
B	境山、遠山、汐見台、汐見台南

8 スケジュール

エリア	通知発送日	予約受付※1 (窓口受付分は、土日祝日を除く)	予約できる 接種日時※2
A	4月2日 (金)	4月5日(月) ~ 4月16日(金)	4月号で お知らせ
B	4月16日 (金)	4月19日(月) ~ 4月30日(金)	4月号で お知らせ

※1 予約受付の日時や時間等の詳細は、4月号でお知らせします。

※2 接種可能日は、エリア毎に分ける予定です。

予診票は、予防接種券とは別に4月中旬以降に65歳以上の全員に郵送します(詳しくは、4月号でお知らせします)。



新型コロナウイルスワクチン 接種情報 - ①

町民の皆様へ、新型コロナウイルスワクチン接種に関する情報をお知らせします。
なお、お示ししたスケジュールなどは、国によるワクチンの確保状況により変更となる場合がありますので、最新情報は、今後発行される広報紙や町ウェブサイトなどでご確認ください。

1 新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について、予防接種法の臨時接種に関する特例を設け、厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施します。

2 新型コロナワクチン接種の目的

新型コロナウイルス感染症を予防し、死亡者や重症者の発症をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図ることを目的としています。

今回集団接種という方法により、集団免疫を高める狙いがあります。集団免疫を高めることにより、感染者が出てても他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られます。

現時点において、新型コロナワクチンによる集団免疫の効果があるかどうかはまだ分かっておりませんが、感染症の予防や重症者の発症を減らす効果について期待されているところです。

●抗体(※)保有調査(厚生労働省)

厚生労働省が、我が国の抗体保有状況の把握のため、昨年6月に東京都・大阪府・宮城県、12月に愛知県・福岡県を加え、検査を実施しました。

自治体名	抗体保有率1回目	抗体保有率2回目
東京都	0.10%	0.91%
大阪府	0.17%	0.58%
宮城県	0.03%	0.14%
愛知県	実施なし	0.54%
福岡県	実施なし	0.19%

※抗体…生体の免疫反応によって体内で作られるタンパク質。ウイルスや細菌などの異物を排除するよう働きます。

3 新型コロナワクチンの効果・有効性

ワクチンというのは、感染症に対する免疫をつけたり、強めたりすることで、感染症の社会での流行、個人の発症や重度化を予防します。

新型コロナワクチンでは、発症や重症化の予防効果が期待されています。

現在承認申請されているワクチンは、新型コロナウイルスが人の細胞に入るためのカギとなる、スパイク

タンパク質(※)に対する免疫をつくるものです。

ワクチンの入った注射をしたグループで、新型コロナウイルス感染症の症状が出た人の数が、ワクチンが入っていない注射をしたグループより、95%少なかったと報告されています。これを有効率95%と言います。

いつものインフルエンザワクチンの有効率が40~60%と報告されていることを考えると、高い効果とされています。

※スパイクタンパク質…ヒトの細胞表面にあるACE2タンパク質と結合することで新型コロナウイルスの感染を引き起こす物質。

4 新型コロナワクチンの副反応

ワクチンを打ったあと、打った場所の腫れ・痛み、発熱、頭痛などの副反応が起こることがあります。

治療を必要としたり、障害が残るほどの重いものは、極めてまれですが、ワクチンによる何らかの副反応が起こる可能性はゼロではありません。

現在承認申請されている新型コロナウイルスのワクチンについても、打った場所の痛みが66~83%の方にあったことが報告されています。また、38度以上の発熱が、2回目の接種後11~16%の方に発生したと報告されています。

5 副反応が出た場合の補償

一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。

救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関の治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、予防接種法による救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。